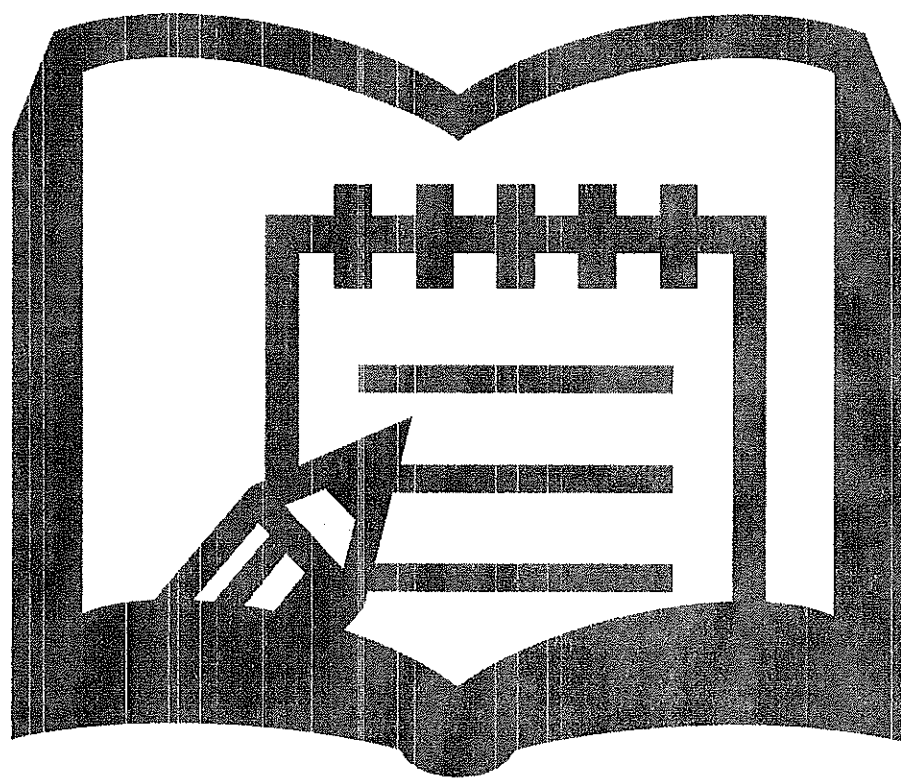


令和2年度

家庭学習のすすめ



年 組 番 氏名

気仙沼市立津谷中学校

目次

学力向上に向けた対策P.1
課題解決に向けての取組P.2
自学ノートの取組, 朝学習・帰り学習と提出の方法についてP.3・4
国語の学習の仕方P.5
社会「家庭学習」の仕方P.6
家庭学習のすすめ〔数学編〕P.7
理科「家庭学習」の仕方P.8
ENGLISH (「英語」) の家庭学習の仕方P.9
各種テスト・検定についてP.10
自分に合った学習計画を立てよう!P.11
学校においてもよい物リストP.12

家庭学習時間のめやす

1年生 「60分」

2年生 「90分」

3年生 「120分」

学力向上に向けた対策

気仙沼市立津谷中学校

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果では、本校は全国と比較すると、将来の夢や希望を持って生活している生徒が多いことが分かりました。

しかし、自尊感情・自己肯定感については、若干下回っている状況にあることも分かりました。今後お互いのよさを認め合う活動や、生徒自ら「取り組んでよかった」、「やったかいがあった」と喜びを得ながら、自信を付ける機会を増やしていきたいと思えます。

また、国語はどの分野においても全国の平均正答率を上回りました。数学は、全国とほぼ同等でした。しかし、英語は、全国の平均正答率を若干下回りました。今後は、「話すこと」、「書くこと」の分野においては自分の意見や考えを伝え合うため、授業でペア活動の機会を増やしたり、英単語や英文を書く時間を設けたりしていきたいと考えております。

「全国学力・学習状況調査」から見られる津谷中学校の3つの課題

■自尊感情・自己肯定感がやや低い状態にある。

・「自分には、よいところがあると思えますか」という質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が、全国と比較すると若干下回る結果になりました。行事や学級活動などで、お互いのよさを見つけ、認め合う活動を増やしたり、生徒に達成感を持たせることができる授業づくりを工夫していきます。

■自分の考えが、うまく伝わるよう工夫して発表することを苦手としている生徒が見られる。また、授業で学習したことを用いて、理由を説明したりすることを苦手としている生徒が見られる。

・学習内容を明確に理解した上で、論理的に説明したり、記述することが苦手と感じている生徒が多く見られます。より一層「分かる授業」を工夫し、学習内容を定着させる取組をしながら、根拠に基づいて説明したり、記述するなどの活動を取り入れて、粘り強く指導していきます。

■家庭学習の時間が短い生徒が見られる。

・「自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に「している」「どちらかといえば、している」と答えた生徒の割合は全国を上回る結果となりました。しかし、家庭学習の時間は全国よりも短い生徒が多い傾向が見られました。全校で取り組んでいる「自学」(ノート、ワークを1日2ページ)の提出率はよいものの、「『自学』が終われば、それで終わり。」という傾向が見られます。学習計画の立て方のポイントや見本などを示し、自分で計画的に学習する姿勢を身に付けさせたいと思えます。

課題解決に向け、全職員で取り組んでいきたいと思えます。御家庭におかれましても御理解の上、御協力をよろしく願います。

課題解決に向けての取組

学校の取組

「分かる・身に付く」授業づくりに努める！

- 授業を工夫、改善し、教え方・学び方をさらに追求して、授業が分かる生徒を増やす。
- ・授業のねらいを明確に示す。
- ・内容を理解する授業とスキルの向上を図る問題演習の時間をバランスよく展開する。
- ・単元のまとめや確認問題への取組を充実させる。
- ・相手意識を持って聞き、話せるように指導する。
- ・書く活動、説明する活動を要所に取り入れる。
- ・学習内容が見やすく、よくまとめられたノートづくりを指導する。

家庭学習の支援に努める！

- 自学ノートや、やりとり帳等を通して、学校と家庭が連携して学習を見取り、学習の仕方等、助言をしていく。
- 授業とリンクした家庭学習課題に取り組ませていく。

各種検定試験等への積極的な取組を促す！

- 漢字検定、数学検定、英語検定等への取組を推奨し、受験体験や成果等を伝えることで生徒の学習意欲を高める。

学校と家庭の協働による取組

生徒の学習習慣を身に付ける！

- 学校と家庭が協力して、子供の学習習慣を身に付け、学力向上を目指す。

生徒の自尊感情をさらに高める！




- 子供一人一人に多くの成功体験を積み重ねさせて、褒める・認める指導により、自信を付けさせる。
- 子供の心のケア、健康管理にゆやかに対応すると共に、基本的な生活習慣や規範意識をしっかりと身に付けさせる。

【自尊感情】

自尊感情とは、自分自身が好きだとか、大切に思えるなど、自分を尊重する気持ちや態度である。これは、心身を健康に保ち、自分を伸ばすことに必要な要素である。自己肯定感を高める経験を多く積むことで得られる。

【自己肯定感】

自己肯定感とは、①他者との競争や比較から、「自分の方が優れている」とか「自分ができる」とかという自分を肯定的に評価する気持ちと、②「自分はこれでいいんだ」とありのままの自分を肯定的に受け入れる気持ちである。自己肯定感を高めるためには、以下の3つの経験を積むことが大切であり、これらはすべて、子どもたちが自信を付けることに大切な要素である。

成功体験	競争・比較	他者からの評価
		
自分！頑張れ！	自分できるも！	頑張ってるよ！

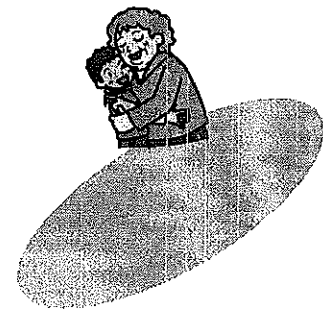
家庭へのお願い

家庭学習定着への協力をお願いします！

- 携帯電話をはじめ、テレビやゲーム、インターネット等、ディスプレイに向かう時間を決めて家庭学習の時間を確保させてください。
- ・家庭学習のめやすは、「平日2時間、休日3時間」です。
- 家庭学習課題だけに頼らず、自ら各教科の学習に取り組むよう呼びかけてください。

短期目標・長期目標を設定させてください！

- 目標を持って生活することが大切です。目標の達成に向けて努力させることで、達成感・満足感が得られます。家庭でも励ましながら、取組の過程もほめてあげてください。



自学ノートの取組について

・ 1日2ページ！（ワークでも可）

（1年生は1学期までは1日1ページ。夏休みから2ページ。）

授業で学習したことをその日のうちに振り返りながら、計算スキルを身に付けるために、計算練習をしたり、大切なワード（英単語、漢字）を覚えるために、何度書いたりしてみよう。

自分で購入したワークでもOKです。しかし、授業で使用しているワークを提出する際には、その日に授業がないことを確認してから提出するようにしてください。

毎週火曜日は部活毎に提出します↓

・ 毎朝、提出！

登校したら毎朝提出します。

提出先は学級担任です。

毎週火曜日は、部活動顧問が点検し

ます。登校したら、昇降口の長机の上に、部活ごとに置くようにしてください。広報委員から各部活動顧問へ提出します。

また、毎週木曜日は、学級担任以外の先生方が点検します。

第1、3木曜日は、校長先生、教頭先生、藤田先生が学年1クラスずつ点検します。第2、4木曜日は、学年主任、副担任の先生方がそれぞれの学級を点検しますので、その先生に提出してください。

詳しい日程は、各教室に掲示している「学習カレンダー」で確認してください。



継続は力なり！明日の自分のために頑張ろう！

朝活動(8:20~8:30)や「怖い学習」を 自主学習にいかそう!

1. 朝活動(8:20~8:30)について

☆「朝読書」と「ドリル」を1週間ずつ行います。

(1)「朝読書」について

※学級にも巡回図書などありますが、基本的には朝読書の時間に読む本は自分で準備しましょう。

①読めなかった漢字、意味の分からなかった言葉など調べてみると良いでしょう。

②その日読んだ分の感想を「やりとり帳」の「ひとこと日記」に書いてみると良いでしょう。

(2)「朝ドリル」について

※国語・数学・英語の3教科です。

①10分間で行い、自己採点します。

②10分間で終わらなかった問題、間違った問題などをメモし、自学ノートを利用して家でやり直してくると良いでしょう。

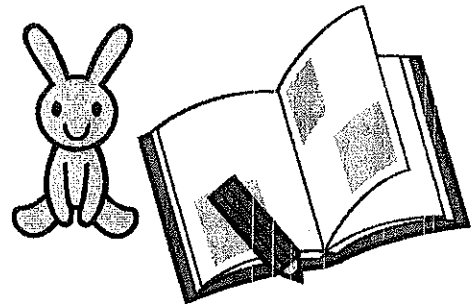
2. 怖い学習(怖いの中の5分間)について

☆自習をします。家での自主学習につなげる5分間です。

授業で間違った問題や、新しく勉強した言葉など、自主学習として何をしたら良いか考えて行いましょう。

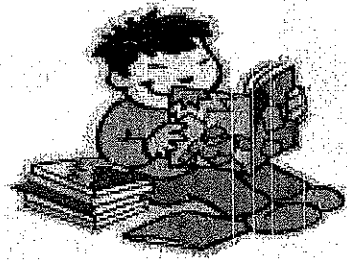
続きは家でじっくり取り組みましょう。

(1年生はGW明けから完全実施とします。)



※自主学習の記録は「やりとり帳」に記録してみよう!

国語の学習の仕方



これで、あなたの国語スキルは、あ~~~~っぴ！する

国語の勉強は大きく分けて「4つの分野」があります。

① 漢字

STEP UP

ワーク、漢字の学習帳でどんどん進めていきましょう。読めない漢字、書けない漢字を書いて練習していきましょう。

② 読解

STEP UP

ワークを中心にまずは自分の力で取り組んでみましょう。ここで重要なのは自己採点をしっかりすることです。解説を見ながら自己採点することで理解もずっと深まるからです。

③ 文法

STEP UP

ワークや先生が配付したプリントを中心に学習を進めていきましょう。間違えた所は、後日もう一度解いてみると力がつきます。

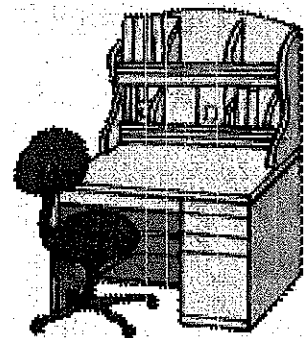
④ 古文・漢文

STEP UP

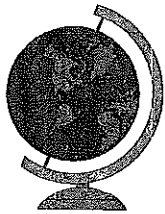
古文であれば、歴史的仮名遣いや古文特有の言葉の意味、漢文であれば、訓読の仕方をワークや先生が配付したプリントを中心に学習を進めていきましょう。特に、歴史的仮名遣いは古文の学習の際には必ず必要となるのでしっかりと覚えましょう。

以上の4つの分野をバランスよく学習をすることが大切です。

さて、上記のことを進めていけば、定期テスト対策としては十分です。しかし、高校入試に向けてはもう少し学習の工夫が必要となります。それは、数多くの現代文の読解の問題に取り組むことです。数学や英語は数多くの問題を解くと思いますが、国語は、・・・という人も多いかと思いますが、ぜひ、3年生の皆さんは数多くの現代文の読解に取り組んで、自己採点をして問題の形式に慣れてください。そうすることで本番でも落ち着いて解けることができるようになります。



まずは、短時間でもいいので取り組んでみましょう！！



社会「家庭学習」の仕方

気仙沼市立津谷中学校

① 「ワーク」で必ず復習をする。繰り返してやると覚えられます！

復習を大切にしていきましょう！まず、社会科のあった日は学習した内容を教科書とノートでざっと確認しましょう。次に「ワーク」の問題（1日わずか1ページ分です。）を解き必ず採点することが大切です。この学習を繰り返すことで、覚えるべき内容や用語が身に付きます。人物や用語などは、その日のうちに覚えてしまいましょう。（勉強したノートは、「家庭学習ノート」として担任に提出しましょう。）

人は忘れてしまう生き物です！！なので同じ内容を

「授業した日→1週間後→1ヶ月後→期末テスト前の勉強」

というように間を開けて、復習すること暗記には効果的です！

② 授業のノートは黒板をただ写すだけでなく、用語の解説を自分なりに入れてみるなど、オリジナル参考書になるように工夫する。

授業で板書されたことをノートに書き写すのは基本ですが、それだけでは不十分です。そこで、是非やってほしいことは、板書した内容に先生が言っていたことや自分が思ったことなど、自分なりの解説をメモのように書き加えることです。そうすることによって、覚えやすくなりますし、思考・判断・表現の向上が期待できます。また、復習するときに役に立つノートとなることでしょう。また、社会科では**色ペンを準備しましょう**。授業では大事な用語は黄色のチョークで書きますが、ノートには赤ペン、青ペン等を使って書くようにすると良いでしょう。

③ 暗記できたら次のやること…

最近、どの県の入試問題を見ても、記述形式の問題が増えています。これは、思考判断表現力が重要になっているからです。いくら用語を暗記しても用語の前後の関連事項や背景が分からなければ記述式の問題は解くことができません。

思考判断表現力を身に付けるためには、時代や地方ごとに、まとめの学習をして、大まかな流れをつかんだ後、暗記した用語をつなぎ合わせたり、関連付けたりしながら、勉強するように心掛けましょう！

④ テレビのニュース、新聞、天気予報、歴史ドラマなどを見て、社会好きになる！

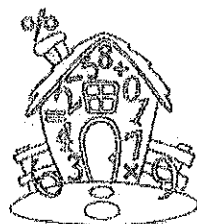
「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあります。常日頃から、世の中の出来事に興味を持って見るように心掛けましょう。

家庭学習のすすめ【数学編】

文責 数学科主任 藤田篤志

1 復習をしっかりと！

数学は積み重ねがとても大切な学問です。今日の授業で学習した内容を振り返り、「どこまで理解できたか」を自分で確認する必要があります。その方法として、



(1) ノートは「授業用」と「自学用」に分ける！

ノートは2つ用意することをお勧めします。なぜならば、「授業用」は参考書にしてほしいからです。

「わかる」段階は3つに分けられます。

① まずは、授業で先生の説明を聞いて「わかる！」

② その次は、家に帰ってから自分でやってみて「わかる！！」

③ 最後は、友達や周りの人たちに説明できるようになって「わかる！！！」

そう考えると、授業で書いたノートを参考書代わりにして、「自学用」のノートにもう一度、同じ問題をやってみることが大切だということになるわけです。

(2) 計算力を身に付けるには練習が不可欠！

バスケット部のみなさん、シュート練習は何のためにしているんですか？

野球部のみなさん、バットの素振りは何のためにしているんですか？

簡単にいうと「うまくなりたい！」からですよ！

どの部活動でも何度も同じような動作を繰り返し練習するものがあると思います。これは、「ミスをなくすため」、「上手になるため」に行っていることだと思います。

数学では、計算力をしっかりと身に付けることが大切です。では、そのためには必要な「練習」は何なのでしょう？

それは、皆さんが部活動でやっているような「繰り返す練習（反復練習）」なのです！

教科書やワークにある問題を繰り返し、練習することにより、ミスが減ります。そして、計算力が身に付くわけです。

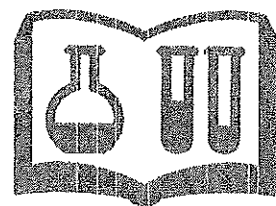
2 「わかる」、「わからない」を確認する！

家庭学習で大切なことは、今の自分は何がわかっていて、何がわからないのかを把握することです。授業で出された宿題を「わからなかったのでできませんでした」というのは宿題をやってきたことになりません（私の持論ですが…）。だからこそ、勉強しなければいけないという意識が生まれるのだと思います。ダメなのは、「わかる」のか「わからない」のかを確認しないということです。そのためにしなければいけないことは学校でも、塾でもなく、自分ひとりで確認するということです。

数学が「数が苦」でなく、「数楽」にするのは、あなた自身の努力も必要なのです！

人生はかけ算だ！君が「0」なら意味がない！

理科「家庭学習」の仕方



1 理科は暗記教科ではありません。考える教科です。

理科は、生物分野、化学分野、物理分野、地学分野に分かれていて覚えることも沢山あります。「頑張って勉強しても、すぐに忘れてしまう。」こんな悩みは誰にでもあると思います。「人間は忘れる動物」ですから、それは自然の摂理と言えます。しかし、「忘れにくい勉強方法」は確かにあります。ここではこのことについて少し触れたいと思います。

○「覚える」から「考える」勉強方法をする。

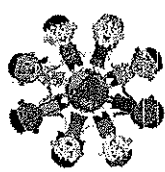
多くの人の場合、大切な用語は一問一答形式や穴埋め形式で覚えがちです。この方法は覚えやすいけれど、忘れやすい勉強方法とも言えます。そこで、用語や公式の意味を自分の言葉で考えながら説明する勉強方法も取り入れてみてください。みなさんに、「光合成について説明して下さい。」と質問すると、考えるのが面倒になって、すぐに「分かりません」という返事が返ってきます。しかし、「光合成に必要な原料は何ですか。」「光合成に必要なエネルギーは何ですか。」「光合成が行われる場所はどこですか。」「光合成によってできる物質はなんですか。」と質問するとほとんどの人が答えることができます。頭の中に知識はあるけれど、その知識を組み立てて活用することが苦手なのです。考える手だてとなる知識が「生きてはたらく知恵」になるのだと思います。

○「忘れる」まえに「確かめる」勉強方法をする。

理科の勉強に、あまり気合いを入れる必要はありません。次の授業で何をするのかがだいたい分かれば、特に予習も必要ではありません。復習だって30分も必要ありません。ただし、家に帰ったら、その日に書いたノートを見直して下さい。ノートを見たときに「この時先生はこんな説明をした。」「この時先生はこんな雑談をした」「この時友だちがこんな質問をした」など授業の内容やその時の様子を思い出すことができればよいのです。1週間後、単元の学習終了後、1ヶ月後、また同じようにノートを見て下さい。それだけでずいぶん違うはずですよ。その時分からなければ教科書や参考書で調べたり、また、さらに理解を深めたいと思ったときにワークや市販の問題集を解けばよいのです。

2 テストや入試に向けた家庭学習

ノートの見直しや教科書を使った復習に加えて、ワークや市販の問題集に繰り返し取り組むことをおすすめします。テストや入試に出題される問題は、単元ごとに似たような問題が出題されることがあります。そのため、色々な問題を解くことで、出題される問題の傾向がわかるので、どんな問題にも対応できるようになります。まずは、ワークの問題から解けるように練習していきましょう。



ENGLISH



英語「家庭学習」の仕方

1 予習の仕方 ～授業の前に必ず予習！～

(本文をノートに写す→新出単語などの意味を調べる→本文の日本語訳も考えてみる。)

Unit 3 part 1 (p.38)			
Hi , my name is Deepa Mitra.	name	名前	やあ、私の名前はディーパ・ミートラです。
I'm from India.	like	～が好き	私はインド出身です。
I'm twelve.	.	.	私は12歳です。
I like math.	.	.	私は数学が好きです。
	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

○Today's goal : 自分の好きなことを話そう。

・ I like math.
「私は数学が好きです。」

※ 黒板にまとめた内容などを
書く。

※予習したノートに、授業中でのポイントをどんどん記入しよう!

教科書には何も記入せず、後でしっかり覚えているか確認するときに活用しよう!

2 復習の仕方 ～音読・書き取り～

- ① 教科書を読んで意味内容を確認め、スラスラ読めるようにしよう! (音読5回以上)
- ② 新出単語や熟語を含め、教科書の英文を言いながら覚えるくらい書こう!
- ③ 本文の日本語訳を見て、英文で言えるか確認しよう!
- ④ ワークなどの問題集を解いてみよう! (直接書き込まず、ノートに何度も解いてみよう。)
- ⑤ 覚えた表現を、積極的に使って自分のことについて言ったり、英文を作ったりしよう!
- ⑥ 分からないところには印を付けておき、どんどん先生に質問しよう!

3 授業の受け方 ～よく聞く・よくまねる・大きな声で話す～

- ① その時間の目標を意識して授業に臨もう!
- ② 先生の説明や指示をよく聞いて、けじめを持って活動しよう!
- ③ 必要なことがらは、素早くノートにメモをする習慣をつけよう!
- ④ 分からないところは、そのままにしておかないで、必ず先生に聞こう!
- ⑤ 教科書やノート、ワークなどを忘れないようにしましょう!



Where there is a will, there is a way!!

(意志あるところに、道あり!!)

各種テスト・検定について

～新型コロナウイルス感染拡大防止により、日程が変更することがあります～

◎ 校内実力テストの予定 *大きく変更することがあります！

新型コロナウイルス感染拡大による学校休校に伴い、日程が変更になることもあります。

3 学年	2 学年	1 学年
4月16日(木) 4教科 全国学力・学習状況調査	4月16日(木) 5教科 CRT検査	4月16日(木) 4教科 CRT検査
7月 2日(木) 5教科		
8月20日(木) 5教科	8月20日(木) 5教科	8月20日(木) 5教科
9月26日(土) 3教科 27日(日) 2教科 ※地区新人大会の日		
11月 4日(水) 5教科	11月 4日(水) 5教科 CRT検査	11月 4日(水) 5教科 CRT検査
1月 8日(金) 5教科	1月 8日(金) 5教科	1月 8日(金) 5教科

◎ 定期テストの予定

(定期テスト)

定期テスト4日前から部活動中止期間になります。

1 学期期末	6/25(木), 26(金) [全教科2日間]	
2 学期期末	10/30(金) 5教科 [国・数・英・理・社]	
	12/ 2(水) 4教科 [技家・保体・美術・音楽]	
3 学期期末	3 学年	2/12(金), 15(月) [全教科2日間]
	1, 2 学年	2/22(月), 24(水) [全教科2日間]



◎ 各種検定の予定

※変更になる場合もあります。

※受検する際には「検定料」がかかります。

英検	① 5月29日(金) 二次6/28(土)	② 10月2日(金) 二次11/8(土)	③ 1月22日(金) 二次2/28(土)
漢検	① 6月19日(金)	② 9月11日(金)	③ 1月28日(木)
数検	① 8月22日(土)	② 12月 5日(土)	

※それぞれの検定で団体受検に必要な受検者の人数が設定されており、その人数に満たない場合は、津谷中学校を会場として実施することができません。
(他会場での受検となります)

計画的に学習しましょう！

自分に合った学習計画を立てよう！

月曜日

時間	5 6 7		17	18	19	20	21	22	23	24
内容										

火曜日

時間	5 6 7		17	18	19	20	21	22	23	24
内容										

水曜日

時間	5 6 7		17	18	19	20	21	22	23	24
内容										

木曜日

時間	5 6 7		17	18	19	20	21	22	23	24
内容										

金曜日

時間	5 6 7		17	18	19	20	21	22	23	24
内容										

土曜日

時間	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
内容	

日曜日

時間	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
内容	

学校に置いておいてもよい物リスト

通学鞆の重量軽減に伴い、学校において置くことを許可するものです。自分の名前をしっかりと明記し、所定の保管場所に置いておきましょう。

気仙沼市立津谷中学校研究部

教科	学校に置いておいてもよい物（教科書・ワーク・資料等）	保管場所
国語	【全学年】 ・国語便覧	各教室 (ロッカー)
社会	【3年生】 ・公民資料集 【全学年共通】 ・教科書, 地図帳 (家庭で使用したいときは持ち帰りしてください) ・歴史資料集	各教室 (ロッカー)
音楽	【1年生】 ・中学校の音楽1 ・中学校の器楽 【2年生】 ・中学校の音楽2・3年の上 ・中学校の器楽 【3年生】 ・中学校の音楽2・3年の下 ・中学校の器楽 【全学年共通】 ・ワーク	各教室 (ロッカー)
	・アルトリコーダー (*1年生は、今後、購入予定)	音楽室
保体	【1, 2年生】 ・ステップアップ中学体育 【3年生】 ・ビジュアル新しい体育実技 【全学年共通】 ・ファイル ・新しい保健体育「学習ノート」 ・新しい保健体育「教科書」	各教室 (ロッカー)
美術	【全学年共通】 ・美術1, 2・3年の上下 ・資料集	各教室 (ロッカー)
	【全学年共通】 ・絵の具セット	美術室
技・家	【全学年共通】 ・技術・家庭 (技術分野) ・技術・家庭 (家庭分野) ・ワーク ・ファイル (技術)	各教室 (ロッカー)
道徳	【全学年共通】 ・新しい道徳1, 2, 3 ・道徳ノート	各教室 (ロッカー)
学活	【2学年】 ・ファイル	各教室 (ロッカー)
向楽	【全学年共通】 ・ファイル	各教室 (ロッカー)

※ 学級担任, 担当の先生の指示に従って, 所定の場所に置くようにしてください。
(必ず名前を記入してください。)

※ 家で学習したいときには, 持ち帰ってもOKです。